

記載例2（退職等）一括徴収…給与支払者が未徴収税額を給与または退職手当等からまとめて徴収する場合

市提出用 令和 6 年度課税用 給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

宛先 安城市長 「特別徴収」を○印で囲む

所在地又は住所 〒 446-8501 ○○市××町18番

名称又は氏名 (株) 西三河

令和7年1月6日提出 法人番号又は個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4

給与所得者(異動者) フリガナ ミカワ ジロウ

氏名 三河 二郎

生年月日 S63.3.10 旧姓

受給者番号 001-0523

個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 (ア)

異動後の住所(現住所) 刈谷市桜町1丁目150番地

電話 090 - 1234 - 5678

特別徴収税額(年税額) 給与天引きの済月を記入

徴収済税額 6月分から 1月分から

未徴収税額 12月分まで 5月分まで

異動年月日 令和 6年 12月 20日

異動事由 ①退職 (該当項目を○印で囲む)

退職した年の1月 1日から退職時までの給与支払額 円

控除社会保険料額 円

②転勤
③休職
④長期欠勤
⑤死亡
⑥税額が給与額より大きい
⑦給与の支払が不定期
⑧会社解散

未徴収税額(ウ)の徴収方法を A B C から選択し該当記号を○印で囲み、必要事項を記入してください。

A 転勤・特別徴収継続 新たな特別徴収義務者が給与から徴収する場合

新特別徴収義務者 所在地 〒 該当項目を○印で囲む

名称又は氏名 フリガナ 該当項目を○印で囲む

法人番号 連絡先 部署 担当者 記入しない 印刷後 該当項目を○印で囲む

月割額 円を 月分から納入します (月 日 納期分)

新特別徴収義務者指定番号 新受給者番号

特別徴収税額の納入方法 納入書使用 (該当する納入方法にレをうってください)

納入書不使用 (金融機関の納入サービス利用)

B 一括徴収 退職時の特別徴収義務者が給与から徴収する場合

一括徴収した税額は 1月分とあわせて納入します。 (2月 10日 納期分)

使用する納入書等の月分を記入 12月31 記入しない

一括徴収の理由 1 異動が12月31日以前で、申出があったため (12月 20日 申出)
2 異動が1月1日以降で、特別徴収継続の希望がないため

一括徴収税額((ウ)の金額) 円

●1月1日から4月30日までに退職等される方については、一括徴収が義務づけられています。

C 普通徴収 個人で納付する場合

一括徴収しない場合は、次のいずれかを○印で囲んで記入しない 12月31

1 異動が12月31日以前で、申出があったため
2 5月31日までに支払うべき給与又は退職手当の額が未徴収税額以下の場合
3 死亡による退職のため

一括徴収の理由が「1」の場合は、異動者の確認印を押印